三木市男女共同参画センター情報誌

こらぼーよ

“こらぼーよ”とは
Collaboration
コラボレーション
（共同・協働）と
～しようよ の組合せ

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しようよ

第44号 2018・春

平成30年度「男女共同参画週間」
（6/23～6/29）キャッチフレーズ

走り出せ、
性別のハードルを超えて、今

「気持ちわかる～!!」ママたちが作ったカルタがネットで話題に!!
子育て世代の味方、たくさんありますよ♪
三木市男女共同参画プラン（第3次）
男女共同参画セミナー 三木市男女共同参画プラン策定記念
「今、なぜ男女共同参画なのか～男女が共に活躍できる社会の実現をめざして～」
子どもの貧困について考える…
【男女共同参画セミナー出前講座】報告
「”男へん“と”女へん“ 漢字から見える男女共同参画の歴史」

6/23（土）午後1時30分～3時　男女共同参画週間記念講演会

ところ ： 三木市立教育センター　大研修室

講　演 ： 「あなたと私のこれからの人生（大切な人　自分　生き方）
～仕事（含家事・育児・介護）と生活のバランスを取るために～」

講　師 ： 高嶋　紀子さん（ジャーナリスト、ウイミンズメッセージズ編集長）

＊―――＊―――＊―――＊――＊―――＊――＊―――＊―――＊―――＊

「気持ちわかる～！！」ママたちが作ったカルタがネットで話題に！！

先日、ワンオペ育児※の日常を表現したカルタがインターネットで話題になっていました。

子育てに関すること、夫婦に関すること、妊娠中に関すること…。一人で子育てに奮闘するママ目線で書かれたカルタは、子育てをがんばるママから共感の声がたくさん生まれていました。

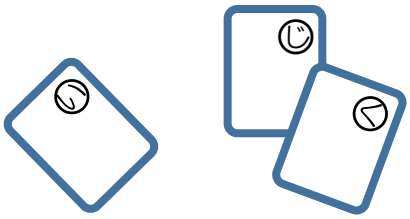
また、逆に「うちではこんなことない」というような意見や、結婚することや出産することについてまでも否定的にとらえてしまうような意見など、たくさんの意見が飛び出し、多くの人が興味・関心を示すカルタになっていました。

※ ワンオペ育児：仕事や育児、そして家庭の事を1人で（ワン）すべて行う（オペレーション）こと。

「主婦のただの愚痴」という意見もあったこのカルタ。「イクメン」という言葉が流行って、家事育児に協力的な男性が増えたとはいえ、まだまだ女性一人で家事育児をこなしている家庭も多くあるという現実が浮き彫りになったのではないかと思います。

家事育児は女性がするもので男性が協力するものなのか、それとも、どちらかが主体ではなく、最初から二人ですべきものなのか、あなたはどう考えますか？

（編集委員：M）



＊―――＊―――＊―――＊――＊―――＊――＊―――＊―――＊―――＊

子育て世代の味方、たくさんありますよ♪

いわゆる「ワンオペ育児」とまではいかなくても、家族や周囲の協力がなかなか得られにくい家庭もあります。

子育ては「孤育て」と表現されることもありますが、「そもそも人間は進化の過程で仲間と一緒に子育てをするようになったため、子育てで独りぼっちになる事に不安やストレスを感じやすい」（NHK スペシャル 2016.1 放送「ママ達が非常事態!?」より）のだそうです。

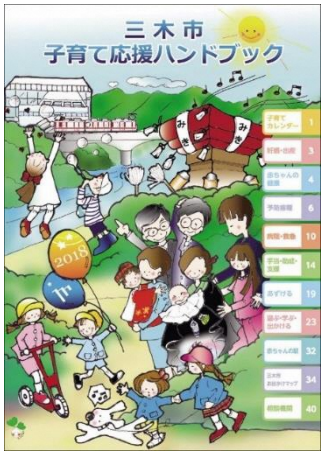
インターネット上にはたくさんのお役立ち情報もありますが、身近なところにある子育て世代の味方についての情報が集まった『三木市子育て応援ハンドブック』を利用してみてはいかがでしょうか？

このハンドブックは、出産前後から子育て期間中ずっと役立つ情報が満載です。産後お子さんとお出かけできるようになったら、気軽に参加できる「子育てキャラバン」や「まちの子育てひろば」等を利用してみることをおススメします！

とくに第一子のママさんや、地域に住み始めて日が浅いママさんには、情報収集先が 1 冊でわかるこのハンドブックは心強い味方になってくれます。おじいちゃんおばあちゃん、地域の皆様も、一度手にとってみてくださいね。

（編集委員：A）

『三木市子育て応援ハンドブック』については



健康福祉部
子育て支援課まで
お問い合わせください

子育て支援課
Tel:0794-89-2324

三木市男女共同参画プラン（第３次）

性別を問わず、すべての人の平等と自立を完全に保障する男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進するために、平成３０年３月に策定されました。

（男女共同参画プランの施策別体系図）

基本目標	基本課題
すべての女性の活躍	あらゆる分野の男女共同参画
	女性の能力発揮の促進と環境整備
	農業や商工業等自営業における女性の参画拡大
仕事と生活の両立支援	働き方の見直しと男性の家庭・地域活動への参画促進
	ワーク・ライフ・バランスの理解と推進
互いに支え合う家庭と地域	地域ぐるみの家庭支援体制の充実
	地域における男女共同参画の推進
男女が共に安心して生活できる環境の整備	生涯にわたる男女の健康対策
	男女を問わずあらゆる暴力の防止と根絶
	多様な人々が安心して生活できる環境の整備
次世代への継承	若者の就労と出会いの支援
	男女共同参画の視点に立った教育の推進

三木市男女共同参画プラン策定記念　男女共同参画セミナー

「今、なぜ男女共同参画なのか
～男女が共に活躍できる社会の実現をめざして～」

平成 28 年に実施された「三木市男女共同参画に関する意識調査」の結果を参考に検討を重ねた「三木市男女共同参画プラン（第３次）」(2018年～2024年までの7か年の計画）が完成しました。これは、市民と行政、関係機関・団体の方々が協働して、男女共同参画社会の実現をめざすものです。

3 月 26 日、「男女共同参画セミナー」が三木市役所で開催され、市民や市職員など約 60 名が参加しました。講師は策定委員会委員長の濱口清子さん。

女性活躍推進法が施行され、女性の労働力が期待されている中、まだまだ、固定的な性別役割分担意識や偏見があり、女性が能力を発揮できる環境も整備されていない現状を、ご自身の体験を交えて話されました。また「三木市男女共同参画プラン」の基本的な考え方や具体的な施策の方向についても説明されました。高齢化が進む中、男女が働き続けるには「ワーク・ライフ・バランス」の理解と推進が必要だそうです。

最後に、制度やプランができても住民の協力や意識の変革がなければ、その実現は困難で、市民一人一人が想像力を働かせ行動することが大切であることや、女性自身が様々な機会で、他人任せにせず、もっと発言し、行動することが必要だと締めくくられました。

このセミナーは、参加者自身が、改めて男女共同参画について考える良い機会になりました。三木市民として、プランの今後の進捗状況を見守るとともに、自分でもできることを考えていきたいと思いました。

（編集委員：S）

子どもの貧困について考える…

市内で、子育て支援を中心に、よろず福祉相談を行っております「自立生活支援センター歩（あゆみ）」です。大人が生きづらい状況の中で、育つ子どもたちの現実を見つめると、様々な貧困について考えさせられます。

家の生活を助けるために子どもが働く事を優先すると、学校に行けない、勉強が手につかない。経済的余裕が無いので、進路や将来の夢が持てない。孤独を感じている。自分の事となるとやる気が出ない。不安感が常にある等…。

子どもは、大人に守り育てられる権利があります。守られないと、自分らしく生きる選択肢を与えてもらえません。自立し、生きていく力を身につけるまで、不安で一杯です。子どもたちの心、気持ちを想像し、共感できれば安心につながると思います。心、気持ちが落ち着くと、良い縁（情報、人）に助けられるようになります。子どもが大人になるまでの時間をどのように生きるのか、皆様と考えていきたいと思います。子どもたちの幸せのために…。

NPO 法人：自立生活支援センター歩
Tel:090-3494-5796

【男女共同参画セミナー出前講座】報告

「“男へん”と“女へん”　漢字から見える男女共同参画の歴史」

2 月 8 日　口吉川町公民館

この日の講師は、古典文学研究家であるとともに県の男女共同参画推進員も務める森田充代さん。

自宅のある豊岡市が大寒波による大雪のため、前夜から神戸市に住む娘さん宅に宿泊のうえ会場入りされました。

第一声が「そもそも女偏の文字はね、男性の視点で作られた女性を軽視する上から目線なんですよ！」と早速、期待どおりの辛口解説で講演が始まりました。

女の文字の語源は、両手を胸の前で組み合わせて‘しな’をつくって膝まずいている女性の形を書いたもの。または女性の性器を記号っぽく型どったものとも言われているとのこと。

ちなみに男偏の文字が非常に少ないのに対し、女偏の文字は 900 字もあると言われています。

「やはり男性中心の社会構造により、女偏の文字には“ねたみ”や“ひがみ”、“やっかみ”が溢れているんです」

例えば、「奴（やっこ）」は、力仕事に従事する女の意味で、そこから“しもべ”の女奴隷のこと。「嫐または嬲（なぶる）」は、もてあそぶこと。「姦（かん）」は、かしましいこと。「娚（めおと）」は、ののしること。「妊娠」は、２文字ともはらむこと。一方、「嬉（うれしい）」は、喜ぶこと。「娥（みめよい）」は、美人のことなど、良いイメージの文字もあるが数少ないとのことです。

ところで、森田充代さんの現代風解釈によれば「娘」は、実家の物を持って帰る人。「姑」は、いない方が良い人。「嫁」は、実の息子を養子に変える人、だそうです。恐るべし～！

講座には数人の男性も参加されていましたが、果たしてどう感じられたでしょうか？　笑いの中にも、ふと考えさせられた講演となりました。（編集委員：F）

【参考】

———女の入った字———

（娘、嬢、嫁、婦、妻、嬶、姑、姥、婆、妖、姻、妊、娠、嫡、嫉、妬、婿、妃、姫、姪、好、妙、嫌、努、怒、奸、妄、妥、妾・・）

———男の入った字———

（甥、舅、嬲、虜、倆・・）

今後の男女共同参画セミナー（出前講座）　※申込不要

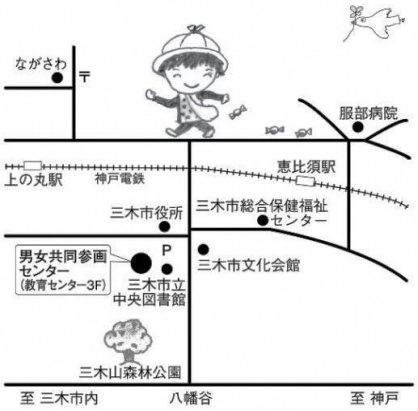
テーマ	講　師	日　時	会　場
我慢しないで、人から好かれるコツ！	横山由紀子さん（コミュニケーションサポーター）	7 月 18 日（水）10:00～11:30	緑が丘町公民館

三木市男女共同参画センター
愛称　“こらぼーよ”

三木市福井 1933-12
三木市立教育センター３階

TEL＆FAX：0794-89-2331
開館日時：月曜～金曜　9 時～17 時
（※祝日を除く）

企画・編集：情報誌“こらぼーよ”編集グループ
発行：三木市男女共同参画センター



———＊ 編集後記 ＊———

春号から新しい編集委員が加わりました。それぞれが興味や関心があるテーマについて、分かりやすい記事を書いています。「市民目線」を大切にしながら。

読者の皆さん、どうぞよろしく。感想もどんどんお願いします。

（編集委員：S）